

case 01

農業土木

県北農林事務所
農村整備部 農村整備課

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#猫

休日は祖父母の家に行き、農作業の手伝いと、飼い猫の2匹と遊ぶのが一番の楽しみです。人懐こくてかわいいので、元気をもらっています。

keyword 02

#おいしいもの

工場の現場などに出張した際に、地域の飲食店でお昼をとることが楽しみです。また休日は先輩から教えてもらったお店に行って美味しいものを食べ、リフレッシュしています。

keyword 03

keyword 04

#福島の農業 #ゲーム

keyword 05

#運転練習中

私は

未来に向かう福島の農業
が好き！

福島の未来に輝く農村をつくる

県北地方を所管する県北農林事務所で、東日本大震災で被災した農地の営農再開を促進する事業に携わっています。農家の方々との意見調整、農地の整備のための工事の設計や監督業務を行っています。

農地の不具合が改善され、農家の方に喜んでもらえた時にやりがいを感じます。

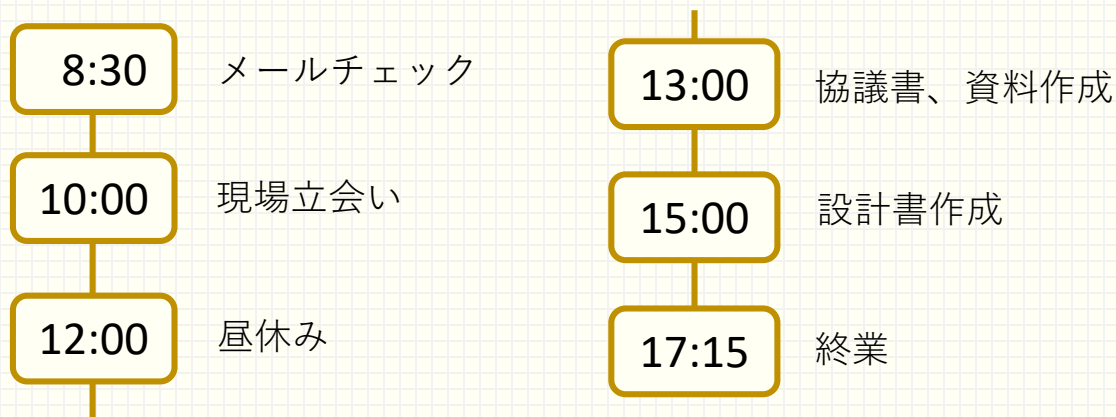
県職員を目指した理由

東日本大震災と令和元年東日本台風を経験し、復旧・復興に邁進する福島に貢献したいと思っていました。祖父母の手伝いで農業に親しんでいたことから農業に興味を持ち、大学では農業水利学を学んだため、福島県の農業土木職を志望しました。



↑現場の施工状況を確認。

とある一日のスケジュール



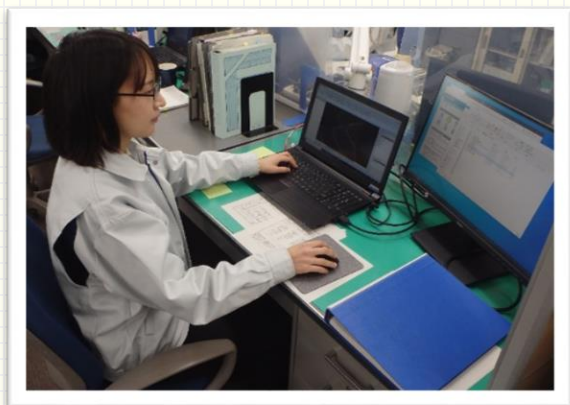
入庁前後で感じたギャップ

公務員というと、堅い雰囲気の人が多く、いつも同じ仕事を型通りに行うのだと思っていました。しかし入庁してみると皆さん明るく気さくで、休憩時には趣味のことや家族の話などもしています。また仕事についても型どおりのものばかりではなく、現場ごとに異なる条件があるため対応の柔軟さが求められることも多いと感じました。



↑施工業者と打ち合わせ中。

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



これから農業を始めたい、続けていきたいと思える環境を作るために、安全で使いやすい農地・農業用施設を提供し、県北地方の地域農業に少しでも貢献できる職員になりたいです。そのために、先輩方から教えてもらったことや日々の業務を積み重ねながら、目の前の業務一つ一つに丁寧に取り組んでいきたいと思っています。